

君の名は。～須賀神社～



1. 大本教天恩郷月宮殿

しくみ

- 大本教天恩郷月宮殿 383.34km - 須賀神社 - 大乘寺 383.34km
- // - 東京都神社庁 383.34km
- // - 竜福寺 383.34km
- // - 天理教楽東分教会 383.34km

そのほかの同距離 妙善寺、重林寺、智清寺、観音寺

左極

大本教天恩郷月宮殿（亀岡市）

天恩郷は戦国時代の名将明智光秀公の居城・旧亀山城址である。明治の廃藩置県後、幼少の出口王仁三郎は、よくこの城址で遊び、荒れ果てていく城跡を嘆き、いつか自らの手で再興したいという希望を胸に抱いていた。大正 8 年（1919）、王仁三郎は荒れ果て顧みる者もなかった城跡を買いとり、信徒と共に整備をすすめ、石垣を再築し、大本の聖場を建設した。

昭和 10 年（1935）第二次大本事件により官憲の手で、神殿・施設がごとごとく破壊されたが、昭和 20 年（1945）、事件が無罪解決。再び再建に着手され、以後数多くの神殿・施設が建設され現在にいたっている。

大本事件以前には、神殿「月宮殿」が建っていた。事件後、数千個の国魂石を積み上げて宝座が造られ、頂上には天拝石が安置された。天恩郷の最も尊い場所とされる。禁足地。

京都府亀岡市古世町北古世 8 1



中道角

須賀神社

主祭神は須佐之男命（須賀大神）、宇迦能御魂命（稻荷大神）。主祭神の左右には五男神（天忍穗耳命、天穗日命、天津彦根命、熊野樟日命、活津彦根命）、三女神（多紀理姫命、市杵島姫命、多岐都姫命）

しくみ～定規とコンパス・ピンポイントカバラ～「明治～現代編」2017

が祀られている。須賀神社の始まりは寛永 11 年（1634 年）、赤坂一ツ木村の清水谷にあった稲荷神社を江戸城外堀普請のため四谷に遷座したことであるとされる。寛永 14 年（1637 年）、日本橋大伝馬町の鎮守として神田明神摂社に祀られていた牛頭天王（須佐之男命と習合）を合祀したことにより江戸時代には「稲荷天王」「四谷牛頭天王社」と称されていたが、明治元年（1868 年）の神仏分離により社号を改めた。

大正 8 年（1919）、大本教が東京宣教の拠点組織「確信会」（のち愛信会）を発会。須賀神社境内に置いた。東京都新宿区須賀町 5 番地



右極

大乘寺

大乘寺は、巫女「オガミサマ」の本山とされ、オシラサマを「口寄せ」の祭具などに用いる。古いものは安土桃山時代のももあり、これだけ大量のオシラサマが一箇所に保存されているのは他に例がない。大和宗/岩手県や宮城県で口寄せを行っているオカミサンと呼ばれる盲目の巫女達により信仰されている宗教です。大乘寺が本山。天台宗系とされる。

岩手県一関市川崎町薄衣上段 1 2 4



須賀神社と同距離

東京都神社庁

神社本庁とは、戦後の神祇院の解体にともない、国家から分離された神社を組織するために、皇典講究所・大日本神祇会・神宮奉斎会の三つの民間団体が中心となってそれまでの事務を継承し、宗教法人・神社本庁として設立したものです。伊勢神宮を本宗とし、全国約 8 万社と言われる神社を包括しています。本宗は尊称で、伊勢神宮は天照大御を祀った、他の神社と比較して特別な存在であるという意味です。地方組織として、各都道府県に神社庁があります。神社本庁の事務所は、東京都渋谷区代々木の明治神宮の隣に位置しています。靖国神社や日光東照宮などは、傘下には属していません。

東京都港区元赤坂 2-2-3

竜福寺（板碑寺）

御本尊は大日如来。宗派真言宗智山派。薬王山東光院と号しています。本寺は、室町時代末期に袋町（現北区岩淵町）の真頂院の僧運珍が隠居寺として創建したのに始まるといわれています。その後の寺歴について詳細は不明ですが、「新編武蔵風土記稿」に末寺として興隆寺や教性院があげられているので、この頃には寺勢を誇る寺となっていたことがわかります。本寺に伝わる「薬師縁起」には薬師堂に祀られている薬師如来（秘仏）が、天長年間(824～834)に台地下の七々子崎（ななこざき）と呼ばれる荒川の入江で発見されたことや、小豆沢の地名が、平将門への貢物を積んだ舟がここで沈み、その際積荷の小豆が流出したことに由来していることが書かれています。本寺には、かつて 20 余基の板碑があって、板碑寺とも呼ばれていましたが、先の大戦の空襲で、堂宇・寺宝が焼失し、板碑も損傷してしまった。現在ではただ昭和 58 年度に板橋区有形文化財となった、鎌倉時代の特色を見事に示している建長 7 年(1255)の大型板碑と延慶 2 年(1309)の板碑など 7 基が残るだけです。

東京都板橋区小豆沢 4 丁目 1 6



妙善寺

紀伊頼宣柳生母養珠院の兄三浦長門守爲春（承応元年 1652 卒）が開基となり、後に小湊誕生寺 20 世となった興善院日爲上人（慶安元年 1648 年寂）を開山として寛永 4 年（1627）創建したといします。

東京都港区西麻布 3 丁目 2-1 3

明王山不動院重林寺

真言宗豊山派。明王山不動院。1650（慶安 3）年の創建という。1555（天文 24）年の庚申待板碑、1716（享保元）年と 1717 年の庚申塔 2 基、1803（享和 3）年の七面観音供養塔などがある。

東京都豊島区池袋本町 2 丁目 3

智清寺

浄土宗寺院の智清寺は、龍光山恵照院と号します。智清寺は、応永年中（室町時代初期 1394 年頃）見誉上人智清によって創建されたと伝えられます。天正 19 年（1591）徳川家康により寺領 5 石を寄進された御朱印寺です。東京都板橋区大和町 3 7-1

観音寺

真言宗智山派寺院の観音寺は、無動山妙智院と号します。観音寺は、元和元年（1615）に開創、秀盛が開山したと伝えられます。

備考

アニメ映画「君の名は。」。正直、ジブリやいろんな映画のいいところ取りに思えたが感動した。

さて、どうして大本教の東京拠点だった須賀神社を主人公たちの出会いの場にし、聖地化したのだろうか。そのあたりは創価学会の本拠地でもある。単純に参拝者が激増しお金が入ったことは確か。それよりも、ここに集めた気（念）をどこか強力に送り込みたい場所があるのではないか。かつて大本教が世界統一を図ったような出来事をまた起こそうと企んでいるのではないか。気になって調べてみた。

まずは、亀岡天恩郷。須賀神社にコンパスを置くと同距離に岩手一関の大乗寺がぶつかった。調べたら、オガミサマ（巫女）の大本山だった。東京の大本教を護る脇侍役として、とてもふさわしい。須賀神社と同距離になり天恩郷から気を引っぱるための社寺を探すと、東京都神社庁や天理教分教会、そして由緒あるところでは立福寺が繋がった。ほかにもいくつかのお寺と同距離になったが、明治以前開創の寺では時代的に合わないと思った。次は綾部梅松苑。



※上京の折り訪ねてみたが、平日の午前にも関わらずアジア系の若い男女 10 人程がこのアングルで写真を撮っていた。すでに立派な日本の観光地になっていた。

2. 大本教梅松苑本宮山月山不二



■	大本教梅松苑本宮山月山不二	- 須賀神社 406.62km
■	〃	- 麻布カトリック教会 406.62km
■	〃	- ドイツ連邦共和国大使館公邸 406.62km
■	〃	- 幸福の科学総合本部 406.62km
■	〃	- 清源寺 406.62km
■	〃	- 寶泉寺 406.62km
■	〃	- 豊島区立 南池袋斎場 406.62km
■	〃	- 創価学会川口北文化会館 406.62km
■	〃	- 大宮聖苑 406.62km
■	〃	- 光徳寺 406.62km

本教梅松苑 本宮山 月山不二（綾部市）

大本の聖地「梅松苑（大本本部 綾部祭祀センター）」は大本発祥の地。田園都市綾部市の中心を流れる清流由良川（和知川）のほとり、緑深い本宮山一帯を境内地とし、長生殿をはじめ数々の神殿が建ち並んでいる。大本の発祥は、明治 25 年旧正月、京都府綾部市本宮の地において、国常立尊の神霊が良の金神（うしとらのこんじん）の名により、出口なお開祖に神がかりし、三千世界の立替え立直し、みろく神世の実現を啓示したことによる。また大本は、綾部市梅松苑（大本本部 綾部祭祀センター）及び亀岡市天恩郷（大本本部 亀岡宣教センター）を神業の根本聖地とし、梅松苑（大本本部 綾部祭祀センター）を祭祀の中心地、天恩郷（大本本部 亀岡宣教センター）を宣教の中心地としている。大本の至聖所「本宮山」。標高 91.7 メートル、広さ約 6 ヘクタール。神体山である。鶴山、桶伏山、円山、丸山とも呼ばれる。現在、山頂には、残った旧長生殿の礎石の上に、こんもりと砂盛りされた最高至聖所「月山不二（つきやまふじ）」がある。その正面には神声碑、教碑がたっている。本宮山は禁足の至聖所になっている。

京都府綾部市本宮町 1-1



須賀神社 ※上記参照

幸福の科学

大川隆法が 1986 年 10 月 6 日に、設立した新宗教である。幸福の科学によれば、仏法真理の流布による人類幸福化を掲げている。発足以前の 1985 年から、イエス・キリストや孔子などの歴史上の偉人・宗教家などが大川隆法の口を通じて語ると主張し、(チャネリング) という内容の書籍(霊言集)を多数出版している。

世界 100 カ国以上に会員組織がある。世界通称として「Happy Science」を使用。関連団体に日本国外の宗教法人 56 の他、幸福の科学出版、幸福実現党、幸福の科学学園などがある。

大学卒業を控えた 1981 年 3 月 23 日に日興(日蓮六老僧)との間で「霊道」を開き、卒業して商社マンとして勤める一方、この時期に宗教家としての「霊的覚醒」が始まったとされる。その後、日蓮、空海、イエス・キリストと通信した内容を集めて幸福の科学の初期の霊言集が完成したという。

本尊は主エル・カンターレ。根本経典は『仏説・正心法語』。創始者・総裁である大川隆法の代表作『太陽の法』をはじめ、歴史上の人物や政治家、著名人などの霊言を含む多数の出版物による布教スタイルが特徴である。大川隆法が多数の法話で説いた「仏法真理」を教義とし、仏法真理の探究・学習・伝道を通じての「この世とあの世を貫く幸福」と地上ユートピアの建設を目指しているとする。

修行の実践については、現代の四正道として「愛・知・反省・発展」を提唱している。人間は神の子・仏の子であることを自覚した上で他者へ愛を与え、真理を探究し、自分の心を見つめ直し、社会全体を向上させる心構えを持つことを現世の「魂修行」とする。また、世界観として多元宇宙論を展開し、三次元世界(この世)は根源神に近づくための「魂の修行の場所」とされている。これらの教義は伝統宗教とのつながりが弱く、先行する新宗教である生長の家と GLA の影響を強く受けている。

本尊の至高神 エル・カンターレは、霊天上界に存在するとされる。エル・カンターレは、奈良県の東大寺盧舎那仏像が象徴するところの大毘盧遮那仏(大仏)を指すという。大日如来と呼ばれ、成立の起源を、ゾロアスター教の善の最高神アフラ・マズダーに求める学説がある。

1999 年 10 月 31 日には現状の品川区東五反田の新総合本部ビルに移転している。

また、1996 年 7 月 10 日には、総本山・宇都宮正心館(後に「総本山・正心館」に改称)が竣工され、8 月に開山した。

東京都品川区東五反田 1 丁目 2-38

麻布カトリック教会

1882 年(明治 15 年)5 月 3 日、芝区赤羽根橋南東畔の松本町にカトリック築地教会の巡回教会が設置された。これは、築地教会所属の信徒の中で、芝公園近隣地区に住む信徒が多くなったためである。新聖堂は聖十字架発見の記念日にちなんで、『聖十字架の聖堂』と命名された。赤羽橋の教会が手狭になると、当時神田教会から巡回していた司祭のジャック・エドモンド・パピノは、1889 年(明治 22 年)、麻布区霞町 21 番地(現在の麻布教会敷地)に土地を借り受け聖堂の建築に着手、1890 年(明治 23 年)7 月 1 日に完成し、神田教会の巡回教会とした。1892



年（明治 25 年）3 月に司祭のドルワール・レーゼが麻布教会に常住したことから、同年を独立と考えるのが定説だが、1889 年（明治 22 年）7 月頃には独自の洗礼台帳やその他の教会文書が存在している事から、同年 7 月には独立していた説もある。

1893 年（明治 26 年）頃からの麻布教会の活動は、東京 6 教会の中で最もおとなしく、目立たない存在だった。これは、司祭の交代が多かった事と、1888 年（明治 21 年）麻布に大隊区司令部が設置され、この地域に多くの軍人が居住し、彼らは日清戦争後の領土問題に、ドイツ・フランス・ロシアが干渉した事で強く不満を持ち、その敵意をフランス人宣教師にも度々向けたためである。当時の司祭であるミッシェル・シュタイシェンは、温和な性格であるため移転までも考えたが、財政的に無理であったので、住民の感情を刺激しないよう、細々とした活動を行った。この苦境に耐えた麻布教会は後に大きく発展し、1921 年（大正 10 年）には東京 6 教会の中で最大の信徒数となった。

1890 年（明治 23 年）に建てられた聖堂は 1916 年（大正 5 年）に建替えられたが、1945 年（昭和 20 年）東京大空襲により聖堂が全焼し、聖心女子学院、信徒宅、伊皿子の枝光会を仮聖堂とするなどの移転を繰り返し、1952 年（昭和 27 年）4 月 13 日、現在の聖堂が完成した。

東京都港区西麻布 3 丁目 2 1-6



ドイツ連邦共和国大使館公邸

1954 年（昭和 29 年）になると、日本国政府から、言わば戦前のドイツ大使館敷地に対する一種の代替地として、今日の港区南麻布土地 1 円という名目的な価格で取得することについて打診された。打診があった 2 年後、面積約 14,500 平米の敷地に大使館事務棟と大使公邸を建設する作業がスタート。事務棟も公邸も、現代建築の粋を集めたもので、大使公邸は RC 構造で連邦建設局(BBD)ボン本部と松田平田設計事務所が設計・施工しました。事務棟は連邦建設局(BBD)ベルリン本部によるものです。竣工・入居は大使公邸が 1957 年、事務棟は 1960 年でした。

東京都港区南麻布 4 丁目 5-1 0



清源寺

浄土宗寺院の清源寺は、浄国山安楽院と号します。清源寺は、馬術の達人だった稲垣善右衛門（法名一乗院殿覚本善佐居士、慶安 2 年 1651 年寂）が開基、寂蓮社圓譽永運（慶安 2 年 1649 年寂）が開山となり、寛永 4 年（1627 年）創建したといわれています。

東京都新宿区戸山 1 丁目 1 5-2

寶泉寺

宝泉寺は「和漢三才図会」（江戸時代の百科事典）や「吾妻鏡」などによると、西暦 810 年頃の草創と伝える。また承平年間（931-938 年）平将門の乱を平定した藤原秀郷（俗称、俵藤太）の草創とも伝えられ、そのどちらをみても千年以上の歴史を持つ古寺であることがわかる。南北朝の動乱で荒廃したが、文亀元年（1501 年）に関東管領上杉朝良が荒廃を嘆き私財を投じて迦藍を復興した。しかし、戦国の戦乱により再び荒廃。その後、天文 19 年（1550 年）牛込時国によって再興された。

江戸時代に宝泉寺は隆盛を極め、本堂（本尊薬師如来）、毘沙門堂、常



念仏堂、鐘楼を擁し、なかでも毘沙門堂は藤原秀郷の念持仏の毘沙門天が安置されていたことで勝負事にご利益があると有名になり、江戸で最初に富くじが行われた寺院として「富興行一件記」に記されている。また隣接していた水稻荷神社の別当（寺が神社の代わりに行事を行う）となり、高田富士という模造の富士山が在り富士講の流行とともに多くの信者を集めた。境内には、三代将軍家光が名付けたという守宮地（いもり池）があり、春には、梅や桜の名所として江戸の人々の憩いの場となった。当時は、広大な土地を有し現在の早稲田大学キャンパスの大部分が寺領であったと伝えられている。

東京都新宿区西早稲田 1 丁目 1-2

清立院

日蓮宗、御嶽山。約 770 年前、真言宗・清龍寺として創立。後に村を疫病から救った雲水が日蓮聖人像を寺に残したことから、日蓮宗・清立院と改められた。門の石段脇に「かさもり 薬王菩薩安置 清立院」と刻まれた石碑があり、雨乞いと皮膚病の祈願寺として尊崇された。木彫毘沙門天像は区の文化財に登録されている。

東京都豊島区南池袋 4 丁目 2 5

豊島区立 南池袋斎場

区民が葬儀（通夜・告別式）に利用するための施設。

豊島区南池袋 4 丁目 2 5-2

備考 斎場や火葬場もしくみにとって大切な聖地。近頃造られた大宮聖苑も同距離線上。

創価学会川口北文化会館

創価学会は、日本の宗教法人。法華経系の在家仏教の団体で、国内に公称 827 万世帯を擁する。「創価」とは「価値創造」の意味。創価学会は価値の中心に「生命の尊厳」の確立を置き、それに基づいた「万人の幸福」と「世界の平和」の実現を目標としている。1930 年（昭和 5 年）に創立し、1952 年（昭和 27 年）に宗教法人の資格を取得。1975 年（昭和 45 年）には創価学会国際（SGI）を発足させ、現在、日本を含む世界 192 カ国・地域に 1200 万人を超える会員を擁している。

東京都新宿区信濃町 3 2

大宮聖苑

大宮市時代には植竹町（現在のさいたま市北区内）1-593 に市営大宮火葬場があったが、市街地の拡大とともに移転を望む声が高まり、老朽化も相まって 2001 年頃から移転に着手した。2004 年 5 月に現在地に大宮聖苑が完成し、同年 7 月 1 日から使用が開始された。

埼玉県さいたま市見沼区染谷 2 丁目



光徳寺

光徳寺は、快巖（慶長 6 年 1601 年寂）が開山となり、文禄 4 年（1595）に創建、慶安 2 年（1649）には徳川家光より寺領 13 石の御朱印状を拝領、将軍の日光東照宮参拝に際して御膳所として供用されていた。

埼玉県さいたま市見沼区膝子 3 1 5

(参考・同距離)

東宮御所正門・西門



備考

今まで見落としてきたが、門もポイントになるようだ。東宮御所の正門と西門がきれいに同距離に位置している。もしくは派出所だろうか。記載していなかったが、あちこちの警察署も度々ぶつかってくる。影の支配者たちのために力を持つよう仕組まれているのだろうか。

備考

信者が多い「幸福の科学」の気と須賀神社の気を合わせて、眠っていた出口王仁三郎（大本教）や国之常立神の力を強力に引き寄せ力にできる。すごい場所に幸福の科学本部は作られてあった。清水富美加の幸福の科学への出家引退さわざをはじめ、木村拓哉や堺雅人まで関わっていると噂されている。とても力を持っていることは確かだ。なにかを起こそうとしているのではないだろうか。※幸福の科学の頁も要参照

大本教が大正 8 年に須賀神社を東京拠点に選んだのは、当時麻布カトリック教会が東京 6 教会の中で最大の信徒数となっていたからだだろう。聖堂が 1916 年（大正 5 年）に建替えられている。富くじ発祥の宝泉寺もある。大本本体の気を東京に引き込むには十分な聖地だ。そして、次頁で詳しく説明するが、この須賀神社は宮中三殿ともつながる。



3. 皇居 宮中三殿

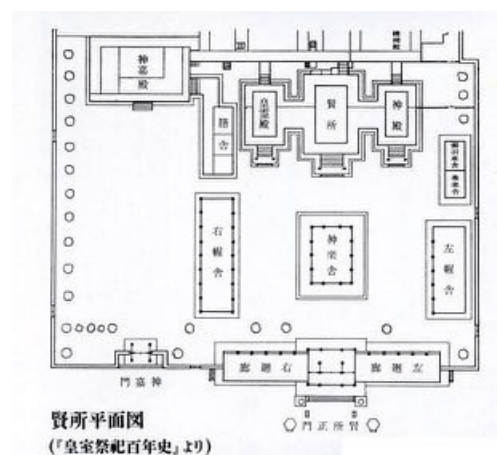


- 宮中三殿 - 須賀神社 2.525km
- " - 天白稻荷神社 2.525km
- " - 旧乃木邸 2.525km
- " - 解脱会 2.525km
- " - 聖教新聞社 2.525km
- " - 生長の家赤坂いのちの樹林・日本教文社・末一稻荷神社跡 2.525km
- " - 霊友会ビル 2.525km
- " - 三井造船築地本社 2.525km
- " - (株)ヒカルランド 2.525km

皇居宮中三殿

宮中三殿は、皇居内にある三つの連結された建造物の総称である。それぞれ、神道の神を祀っており、宮中祭祀（皇室祭祀）の中心となる。宮中三殿の構内には、附属するいくつかの建造物が配置されている。四方拝、新嘗祭が行われる**神嘉殿**（しんかでん）、鎮魂祭や天皇皇后の装束への着替えが行われる綾綺殿（りょうきでん）、神楽が行われる神楽舎（かぐらしゃ）、楽師が雅楽を演奏する奏楽舎（そうがくしゃ）、列席者が待機する左幄舎（ひだりあくしゃ）と右幄舎（みぎあくしゃ）、賢所に正対する賢所正門、新嘉殿に正対する新嘉門などである。宮中三殿の祭祀は、明治維新から宮中祭祀の変遷と漸次的集約を経て、教部省が成立した直後の明治5年4月2日（1872年5月8日）に整ったと解されている。

賢所には皇祖神天照大神を祀る。その御霊代である神鏡（八咫鏡の複製）が奉斎されている。また「かしこどころ」と読んで神鏡そのものを指すこともある。古代より宮中で祭祀された。掌典及び内掌典が



御用を奉り、「忌火」（「神聖な火」の意味）を護り続けるとされる。平安時代は温明殿（うんめいでん）、鎌倉時代以後は春興殿にあった。古代から続くという宮中祭祀が行われ、現在の皇后、皇太子妃など皇族の妃らを宮中に迎える結婚の儀もここで行われた。その際、后妃が賢所を退出した際に婚姻成立とみなされる。神聖な場所のため穢れを嫌い、「次清」の別などの厳格な規律があるという。

なお、宮中三殿のうち賢所は古代から宮中で奉斎されてきたが、皇霊殿と神殿は、明治維新以降の宮中祭祀制度の再編成によって新たに宮中に遷座・奉斎されたもの。

神殿

天神地祇八百万神が奉斎されている御殿で、明治5年3月に神祇省の廃止と共に宮中に遷座したのがその始まりで、三殿の中では最も後に成立した。前項で記したように、明治2年6月、明治天皇は国是の確立を、天照大御神はじめ天神地祇八百万神と、神武天皇から孝明天皇に至るまでの歴代天皇の皇霊に御奉告のため、神祇官に霊代を設け招き祭らしめられ、御拝された。そして同年、神祇官に神殿を設ける事が決まり、同年12月に仮神殿が竣工し、その中央の座に八神を、東の座に天神地祇を、西の座に歴代天皇の皇霊がそれぞれ奉斎され、鎮座祭が斎行された。

明治4年8月、神祇官が廃され神祇省が置かれ、それに伴い神祇省に継承された神殿（西の座）に奉斎されていた歴代天皇の皇霊は宮中賢所に奉遷されたが、八神と天神地祇は引き続き神祇省の神殿にお祀りされた。しかし、翌5年に神祇省が廃止され新たに教部省が置かれる事になり、そのため同年3月、神祇省神殿に奉斎されていた八神と天神地祇を宮中に遷し仮に賢所拝殿に奉安せしめ給う旨仰せ出され、それを受けて同年4月、神祇省の神殿に奉斎されていた八神と天神地祇、及び京都の神祇伯白川家、神楽岡の吉田家斎場、有栖川宮家の旧邸と新邸にそれぞれ鎮座されていた八神を、御羽車に移し、賢所拝殿に奉遷した。翌5年、八神と天神地祇の両座を合祀して一座とし、「神殿」と改称され、これによって現在の宮中三殿の原型が成立しました。東京都千代田区千代田1-1

備考 宮中三殿は靖国神社や多くの寺社を、伊勢神宮からの同距離におき、伊勢神宮に集まった信仰の気を引き寄せている。詳しくは「2.伊勢神宮と皇居」。

須賀神社

※上記参照

天白稲荷神社

須賀神社境内にある摂社。須賀神社天白稲荷神社（祭神：倉稲魂大命、相殿：天照大神、応神天皇、神功皇后、大山祇神、猿田彦神、大物主神等 17 柱）

旧乃木希典邸

乃木 希典（のぎ まれすけ、嘉永2年11月11日（1849年12月25日） - 1912年（大正元年）9月13日）は、日本の武士（長府藩士）、軍人、教育者。日露戦争における旅順攻囲戦の指揮や、明治天皇の後を慕って殉死したことで国際的にも著名である。大正元年（1912年）9月13日、乃木は明治天皇大葬が行われた日の午後8時ころ、妻・静子とともに自刃して亡くなった。享年64（満62歳）没。乃木の死去を受け、読売新聞のコラム「銀座より」では、乃木神社建立、乃木邸の保存、「新坂」の「乃木坂」への改称などを希望するとの意見が示された。その後、京都府、山口県、栃木県、東京都、北海道など、日本の各地に乃木を祀った乃木神社が建立された。

東京都港区赤坂8丁目1-1



解脱会

解脱会（げだつかい）は、日本の新宗教団体。1929 年に創設された。真言宗系新宗教に分類されることもあるが、神仏混淆色が強く、宗教法人としての届けは「諸教」としてなされ、文化庁の宗教年鑑では諸教に分類されている。また剣道稽古を行なう解脱錬心館と呼ばれる団体も存在する。

『宗教年鑑 平成 28 年版』における国内信者数は、99,184 人

創始者・岡野英三

1929 年(昭和 4 年)、故郷・北本宿の生家付近で、「太神を世に出せ」という啓示を受けた。この体験により、実業界から決別し、それに反対する妻とは離別し、宗教家となった。解脱会ではこの年を立教の年としている。

1931 年（昭和 6 年）、醍醐寺三宝院にて出家得度。聖憲はその後、「御五法修業」、「天茶供養」という秘義を編み出し、信者に指導していく。1931 年(昭和 12 年)に日支事変が始まると、戦時中における奉獻金活動や慰問活動などを行い、以後終戦まで続ける。聖憲は、皇室至上主義、国粹主義思想を持ちつつも、日本軍だけでなく、中国軍の戦死者、太平洋戦争が始まってからは、米軍の戦死者も供養した。1941 年(昭和 16 年)からは国恩報謝、戦意高揚を祈願するために伊勢神宮や橿原神宮、御寺泉涌寺などへの参拝が行われるようになる

東京都新宿区荒木町 4



聖教新聞社

聖教新聞社は、宗教法人創価学会の出版部門である。創価学会の機関紙である『聖教新聞』の発行などを手がけている。聖教新聞社は第三文明社とは違い株式会社などの法人格を取得しておらず、創価学会から独立していない。1951 年（昭和 26 年）『聖教新聞』創刊

東京都新宿区信濃町 18 番地



生長の家 赤坂いのちの樹林・日本教文社・末一稲荷神社跡

生長の家跡地に造られた霊的緑地。生長の家本部は 2013 年 10 月、“自然と共に伸びる”運動を展開するため、山梨県北杜市に移転し、原宿の跡地と、赤坂の地には「いのちの樹林」という緑地を建設した。「末一稲荷神社」という、生長の家の出版活動が栄えることを願って建立された神社があった。山梨に移転して跡地に七重の塔が建てられた。日本教文社/1930 年、生長の家出版部として出発、34 年光明思想普及会となり、戦後 1946 年日本教文社となる。社長に辻村彦次郎。ほか『フロイド選集』(1952-60)、『ウィリアム・ジェームズ著作集』、『ユング選集』、1960 年代後半からは、右翼・保守派の三島由紀夫、葦津珍彦、林房雄、村松剛、小堀桂一郎、名越二荒之助などの著書も刊行する。

東京都港区赤坂 9 丁目



霊友会ビル

釈迦堂の前にあるビル。

霊友会/法華系の新宗教である。国内信者数は、1,340,703 人とされている。

1920 年（大正 9 年）創立者の久保角太郎は西田無学の思想と行法を知り、それをきっかけとして本格的な法華経研究と在家による実践方法の模索に入る。

1924 年 若月チセらと第一次「霊友会（南千住霊友会）」結成するが、若月らに菩薩行としての趣旨が理解されず、その後袂を分かち。

1927 年 兄夫婦の小谷安吉・小谷喜美らとともに「赤坂霊友会」として活動を開始。

1930 年 小谷喜美を名誉会長とし、貴族院議員・永山武敏男爵を会長に迎え久保を理事長として「霊友会」として発会式を行う。永山は三ヶ月で辞任し、小谷喜美が会長に復帰する。「在家による法華經の菩薩行を实践する団体」として発展。

1944 年 久保角太郎他界。その後、小谷喜美を中心に戦後大きく教勢を伸ばしていくが、多くの分派を生むに至る。

1949 年 教団本部が GHQ の搜索を受け、金塊とコカインが押収される。翌年には小谷喜美が脱税の容疑で捜査を受け、麻薬所持で摘発。この後普明会教団と妙智会教団、佛所護念会教団が分派していく。

1953 年 小谷喜美が赤い羽根共同募金 110 万円の横領、闇ドル入手、贈賄などの容疑で検挙。顧問弁護士木村篤太郎らの尽力で釈放。この闇ドル入手には、聖イグナチオ教会会計係の神父が関係していた。

2003 年 久保継成は、新団体「在家仏教こころの会」を設立し、以降、分派団体としての活動を行う。

2013 年大形市太郎会長死去により末吉将嗣が会長に就任。

東京都港区麻布台 1 丁目 7-8

三井造船築地本社

三井グループの重工業メーカー。他の重工業メーカーと比較し LNG（液化天然ガス）、浮体式石油生産・貯蔵・積出設備（FSPO）など造船部門の比率が高いが、物流システム、動力エネルギー、先進機械、プラント、環境、鉄構建設、IT 関連など事業項目は多い。エチレンやポリオレフィン等の化学プラントも手掛け他社に無い事業領域も持つ。また、大型研究施設・技術開発に強く、深海探査機器を有し、原発代替エネルギーとして注目されている、メタンハイドレート実用化や、素粒子関連の大型施設などを手掛けている。NGH ジャパンや三井海洋開発等、筆頭株主の三井物産が強いプラント・エネルギー分野での協業事業も多い。

次の事業本部を設けている。船舶・艦艇事業本部 機械・システム事業本部・船用エンジンや産業機械など。エンジニアリング事業本部

太平洋戦争中より艦艇建造に携わり、主に海防艦を建造、戦後も自衛艦の建造を続けている。

東京都中央区築地 5 丁目 6



(株)ヒカルランド

ヒカルランドは、主として徳間書店の「超知ライブラリー」シリーズ、「超☆スピ」シリーズ、「5 次元文庫」シリーズ、そのほか船井幸雄、井沢元彦、茂木健一郎、竹内薫、ベンジャミン・フルフォード、さくらももこ関連の書籍を輩出してきた編集者・石井健資とその外部スタッフが中心になって創立した出版社です。アレフ（旧オーム真理教グループ）の経営と噂されている。

東京都新宿区津久戸町 3-1 1



備考

明治天皇大葬の日、乃木希典大將が妻とともに自刃した旧乃木邸がもっとも力を持っているように感じる。民衆や新聞の大多数は乃木の切腹に感動し、明治天皇への至忠を貫いた崇高な行為として賞め称えたという。英霊として乃木神社も作られた。

自害の様子を綴った文を読むと痛々しい。<http://www.geocities.jp/kyoketu/6158.html>

支配族に利用され、支配族のために家族や部下や己を犠牲にさせられたと思うと実に嘆かわしい。自害現場の乃木邸は残され文化財になり多くのファンを集めてきた。

あらかじめスサノオウを祀る須賀神社と同距離に住まわされたのではないだろうか。昔から、神社仏

閣はもちろん、教会や様々なカルト教団も、そして企業も、すべて影のカバラ使いによって場所を決められているのだと思う。軍艦を作る三井造船すらも同距離にある。

のちにこのしくみに加わったのが、解脱会や生長の家。霊友会や創価学会の敷地内を通る。生長の家の日本教文社、創価学会の聖教新聞社、アレフのヒカルランドと、宗教系出版社が三つも含まれているのも興味深い。「解脱会」法主の岡野聖法は日本会議の代表委員。ちなみに人気グループ「ゆず」の北川悠仁は、解脱会から派生した、「かむながらのみち」という宗教団体の代表「北川慈敬」（本名・北川敬子）の息子。

備考

アニメ映画「君の名は。」で、須賀神社に光をあてる理由は、須賀神社の武神スサノオウを目覚めさせ、大本教のクニトコタチ神を目覚めさせ、支配者天皇家に気を送り込み、戦う力をさらに強く持たせるためだろう。再び軍国主義国家に立ち返るために、過去のしくみの作り直しを図っているのではないだろうか。アニメが利用されている。マスメディアの持つ力に怖さを感じる。

これまで紹介した明治～現代のしくみを見れば、天皇家は様々な宗教団体から気を吸い上げていることがわかる。もちろん逆に伊勢神宮から引きよせた気を送り込む相互関係もあるのだろう。異教間で対立しているように見せているが、神道も仏教もキリスト教もカルト教も宗派はまったく関係ないのだ。

別頁「古い神社の役割/香取神宮と関係神社の役割/大甕神社・大神神社」もご参照ください。



